

江戸川区景観計画(案)

～まちを元気にする計画～

江戸川区景観計画の策定について

江戸川区の豊かな水と緑を活かし、潤いと風格のある景観を創出するため、平成20年度より「江戸川区景観計画策定委員会」「景観まちづくりワークショップ」や「えどがわ百景実行委員会」を開催してきました。その中で、区民、事業者、学識経験者、区職員など、それぞれの立場から、景観のあり方について、熱い議論が行われました。

本計画は、より良いまちづくりを目指す多くの皆さんの想いを込め、議論の成果をふまえてとりまとめました。

今後、本計画をもとに、より多くの区民や関連する団体等が連携し、より良い景観まちづくりを目指します。

江戸川区景観計画策定委員会

- 計画策定に関する必要事項を審議・検討し、計画案を区長に報告する組織です。
- 学識経験者や関係団体、区民、区職員の13名で構成されています。
- 平成22年4月までに8回の委員会を開催しています。



江戸川区景観計画策定に向けて ～江戸川らしさの発見～

景観まちづくりワークショップ

- 区民と区職員がともに景観を考える場として、平成20～22年度に計14回開催しています。
- まち歩きなどを通じて、江戸川らしさを発見したり、今後の景観のあり方について、意見交換しました。



えどがわ百景実行委員会

- よりよい景観づくりを進めるため、区内の様々な関連団体などが集まった組織です。
- 写真撮影を通じて江戸川らしさを発見する「えどがわ百景」を募集しました。



目 次

基本的な考え方

| | |
|-------------------------------|-----------|
| 第1章 江戸川区景観計画のねらい | 6 |
| 第1節 景観法と景観計画 | 6 |
| 第2節 策定の背景と目的 | 6 |
| 第3節 計画の位置づけ | 8 |
| 1 計画の位置づけ | 8 |
| 2 計画の期間と見直し | 9 |
| 3 景観計画区域 | 9 |
| 第2章 江戸川らしさの発見 | 10 |
| 第1節 江戸川区の現況 | 10 |
| 1 江戸川区の概要 | 10 |
| 2 自然的条件の整理 | 14 |
| 3 社会的条件の整理 | 16 |
| 4 区民意識 | 24 |
| 第2節 江戸川らしさとは | 26 |
| 1 区民が発見した「江戸川らしさ」 | 26 |
| 2 本区の景観を構成する要素 | 26 |
| 3 要素ごとの江戸川らしさ | 27 |
| 第3章 計画の目標と基本方針 | 32 |
| 第1節 目標 | 32 |
| 第2節 基本方針 | 32 |
| 1 水に親しみ、緑を育てよう | 33 |
| 2 これまで創り育てたまちの宝物を大切にしよう | 34 |
| 3 住み良く心地良いまちなみを育てよう | 35 |
| 4 生き生きとしたまちの表情をつくろう | 36 |
| 5 区民の想いを活かし協力して進めよう | 37 |

計画の進め方

| | |
|---|-----------|
| 第4章 区民主体の活動による景観まちづくり | 38 |
| 第1節 大景観区 ～多様な江戸川らしさのある6つの地域～ | 38 |
| 小松川・平井地域 | 39 |
| 中央地域 | 41 |
| 葛西地域 | 43 |
| 小岩地域 | 45 |
| 鹿骨地域 | 47 |
| 東部地域 | 49 |
| 第2節 小景観区 ～区民主体による江戸川らしさの創造・再生・育成～ | 51 |
| 1 小景観区のまちづくりの考え方 | 51 |
| 2 小景観区のまちづくりを支える仕組み | 54 |

| | | |
|---|----------------|----|
| 3 | 小景観区のまちづくりの種類 | 56 |
| 4 | 小景観区のまちづくりの進め方 | 59 |
| 5 | まちづくり活動の着眼点 | 62 |

第5章 区の顔となる景観まちづくり 66

| | | |
|-----|--------------------------|-----|
| 第1節 | 景観軸・景観拠点 ～区の顔となる地域の景観形成～ | 66 |
| 1 | 景観軸・景観拠点の設定 | 66 |
| 2 | 景観軸・景観拠点の景観形成の考え方 | 69 |
| 3 | 景観軸・景観拠点における景観形成方針 | 72 |
| | (1) 臨海景観拠点 | 72 |
| | (2) 大河川景観軸 | 78 |
| | (3) 親水河川景観軸 | 84 |
| | (4) 親水公園景観軸・親水緑道景観軸 | 90 |
| | (5) 道の景観軸 | 96 |
| | (6) 駅の景観拠点 | 102 |
| | (7) 公園の景観拠点 | 107 |
| | (8) 農の景観拠点 | 112 |
| | (9) 一般地域 | 117 |
| 4 | 色の使い方と色彩基準 | 119 |
| 5 | 屋外広告物の考え方 | 122 |
| 第2節 | 景観重要資産 ～地域資源の保全・活用・整備～ | 123 |

第6章 景観まちづくりの推進 129

| | | |
|-----|-----------------|-----|
| 第1節 | 区民・事業者・行政の役割 | 129 |
| 第2節 | 施策の体系 | 131 |
| 1 | 景観まちづくりの普及 | 132 |
| 2 | 景観まちづくり活動への支援 | 133 |
| 3 | 景観形成事業の推進・規制誘導 | 134 |
| 4 | 景観まちづくりの推進体制の確立 | 138 |

| | | |
|---|------------------|-----|
| 1 | 景観計画策定の経緯・体制 | 139 |
| 2 | 区民が発見した江戸川らしさマップ | 145 |
| 3 | 景観まちづくり資源図 | 158 |

景観計画の構成 本計画の全体像を模式化したものです。

基本的な考え方

第1章
p6-9

江戸川区景観計画のねらい

策定の背景と目的

- 区民と区の協働により、**水と緑を基盤とした豊かなまちの環境**が整ってきました。
- まちの魅力をさらに高めるため、景観を視点に、地域の環境を捉えたまちづくりが必要です。

↓

- 「**わがまちに誇りの持てる景観**」を育成します。
- 「**将来に夢を持てる計画**」として皆で取り組みます。

計画の位置づけ

第2章
p10-31

江戸川らしさの発見

- 「**江戸川らしさ**」は、土地が育んできた様々な要素が重なり合って形成されています。

第3章
p32-37

計画の目標と基本方針

目標

水と緑に育まれた、多様な「江戸川らしさ」を活かした景観まちづくり
～まちを元気にする計画～

基本方針

水に親しみ、緑を育もう

海と河川、親水施設を核とした、水と緑の景観を広げる。

これまで創り育てたまちの宝物を大切にしよう

地域と一体となった歴史的・文化的資源の保全・活用を進める

住み良く心地良いまちなみを育てよう

江戸川らしさを感じる地域資源を活かし、個性あるまちなみをつくる

生き生きとしたまちの表情をつくろう

区民や地域産業の持つパワーを活かし、江戸川らしさを引き出す

区民の想いを活かし協力して進めよう

区民主体の活動を活性化し、発意と共感による景観まちづくりを進める

区民主体の活動による 景観まちづくり

第4章
p38-65

大景観区

～多様な江戸川らしさのある6つの地域～

- 江戸川らしさを活かした景観まちづくりを進めるための地域特性やテーマを示します。



p38-50

地域のポテンシャル ↔ 区民の発意

小景観区

～区民主体による江戸川らしさの創造・再生・育成～

- 区民主体の景観まちづくり活動を活性化し、多様な江戸川らしさを創造・再生・育成します。



p51-65

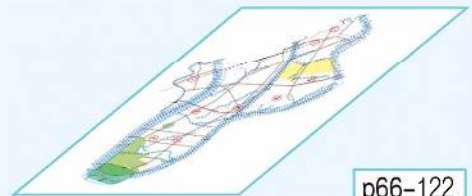
区の顔となる 景観まちづくり

第5章
p66-128

景観軸・景観拠点

～区の顔となる地域の景観形成～

- 区の顔となる景観上重要な地域を景観軸・景観拠点に指定し、重点的に景観形成を進めます。



p66-122

臨海景観拠点／大河川景観軸／親水河川景観軸
親水公園景観軸・親水緑道景観軸／道の景観軸
駅の景観拠点／公園の景観拠点／農の景観拠点

景観重要資産

～地域資源の保全・活用・整備～

- 地域のシンボルとなる資源を景観重要資産に指定し、保全・活用・整備します。

p123-128

景観まちづくりの推進

第6章
p129-138

- 区民・事業者・行政が互いに連携して、景観まちづくりを進めます。
- 景観まちづくりの方針を区民に周知し、景観まちづくりの普及、活動への支援、景観形成事業の推進・規制誘導、景観まちづくりの推進体制の確立を進めます。